



いちょう

山形市立第四小学校

校長 鈴木 一 尋

<児童数 214名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

2019全国学力テスト結果分析

全国学力・学習状況調査は2007年度にスタートしました。今年は4月18日(木)に全国一斉に実施され、本校でも6年生の児童がテストを受けました。

この調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善のサイクルを確立する。」ことにあります。

昨年度までは、基礎的な「知識」の定着度を問うA問題と学んだ知識を「活用」する力を見ようとするB問題に分かれていました。今年度は変更され、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されました。

本校の結果についてお知らせいたします。また、この結果を分析し、教育活動の改善に生かしてまいります。

1. 全国と比べた本校の平均正答率

(参考：山形県、山形市の平均正答率)

	国 語	算 数
本 校	◎	◎
全 国	63.8	66.6
山形市	67	67
山形県	66	65

記号の見方

- ◎ +3より高い
- +1～+3
- 同等(±1)
- △ -1～-3
- ▲ -3より低い

○今回のテストから見てくる本校の弱かった点(主なもの)

- ①「◎」は、全国と比べて本校が3ポイントより高いことを意味しています。
 - ②国語には、大きく分けて、「話す・聞く」「書く」「読む」「言語についての知識理解」と4つの分野がありますが、本校では「言語についての知識理解」に少し課題がありました。具体的には平仮名を漢字に直す問題です。パソコンなど自在に変換してくれる機器があるのですが、漢字を書くことを今後も学習に取り入れて丁寧に指導してまいります。
 - ③算数では、四則が混合した計算に課題がありました。+や-よりも×、÷を先に計算するということを忘れ、前から順々に計算してしまった誤りです。問題をたくさんすることを大事にしながら、今後も継続して指導して参ります。
- 他にも、詳しく分析しながら、今後の教育活動を改善して参ります。

2. 学習・生活状況調査の結果（全国との比較、市教委からプリントに合わせ項目を選択）
【家庭生活に関わること】（当てはまる、やや当てはまる児童の割合％）

項 目			本校	全国	山形市	山形県
1	平日の家庭学習	(30 分未満)	12.1	9.9	3.8	4.1
		(2 時間以上)	21.3	29.3	22.7	20.8
	授業以外の 1 日の読書	(30 分未満)	57.6	58.7	60.0	57.3
		(30 分以上)	42.4	41.1	40.0	42.7
2	家で計画を立てて勉強している		72.7	67.6	73.2	78.0
3	新聞を読まない		48.5	60.9	57.2	50.4
4	朝食を毎日食べている		97.0	94.5	96.6	96.7
5	家の人と学校での出来事について話をする		78.8	80.5	77.9	77.7

【自分自身に関わること】（当てはまる、やや当てはまる児童の割合％）

項 目			本校	全国	山形市	山形県
1	自分にはよいところがある（自尊感情）		75.8	81.2	83.4	83.5
2	いじめはどんなことがあってもいけない		100	97.1	97.2	97.6
3	人の役に立つ人間になりたい		94.0	95.2	94.9	95.6
4	将来の夢や目標を持っている		75.7	83.8	84.3	84.8
5	地域の行事に参加している		84.8	68.0	76.4	85.7
6	学校のきまりを守っている		94.0	92.3	92.4	94.2

※1 小学生の家庭学習の目安 学年×10分といわれます。でも10分では何もできません。

低学年 20～30 分 中学年 30～60 分 高学年 50 分～90 分 が適当と考えます。

※2 読書への関心を高めるために「読書活動」を重視していきます。

※3 「いのちの教育」という視点からも、自尊感情を高めることを大切にしていきます。

※4 将来の夢や目標をもっているという項目が伸び悩んでいます。ぜひ、ご家庭と連携しながら育てていきたいと考えています。

自尊感情を高めるために インターネットで見つけたこと

自尊心とは自己肯定感、もしくはありのままの自分を認めてあげてくれることを言います。小さな子どもは、周りの大人によって自尊心を育てていきます。自尊心が強い子どもは、何事にもチャレンジできる強い心を持つ子に育つと言われていています。周りの大人が子どもの自尊心のために今できることをまとめました。

- (1) どんな状況にあっても「あなたが一番大切」ということを示す
- (2) テストや遊びにおいても何か結果を出せたときには言葉に出して褒める
- (3) 小さなことからでよいので手伝いをさせる

他の子どもと比べて少々劣る部分や苦手意識が強いものがあっても、良い部分を見つけて褒めてあげてください。自尊心を育むためには、自分で“行動させる”ということがキーになってきます。過保護に何でもやってあげずに、ある程度は子どもに考える余地を与えることが大切です。

この全国学力・学習状況調査は、学校の状況、子どもの状況をとらえる一つの方法にすぎません。子どもたちがよく育つ第四小学校にするために、ここで見えた課題を含めて、今後も保護者の皆様と連携して子どもの成長を支えてまいります。